

事務事業名		介護者等リフレッシュ入浴事業			会計	一般会計		事業種別		政策	開始	18	終了	26	
H27担当課等名	福祉課		H27係等名	障害福祉係		H26係等名		障害福祉係							
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり												
	施策	34	障害者福祉の推進												
目的	対象(誰・何を)	車いす利用者とその介護者等										指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	1 日ごろの介護の疲れを癒し、リフレッシュしてもらう 2 介護者の体力的負担を軽減して、快適な日常生活を過ごしてもらう										対象指標	車いす入浴使用者(人)		延べ117人
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して地域で日常生活が送れている割合													
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)						
	成果指標	浴室を利用した車いす利用者人数/補助対象人数(%)			100	100			*H27~他事業と統合						
	定性目標														
事業概要	『障害者の日常生活支援事業』へ統合														
	車いす使用者の入浴事業(ほっ湯アップルのリフト付き浴室の利用料を補助し、在宅では重労働となる入浴の介護の身体的負担を軽減するとともに障害者にとっても憩いの場を提供する事業) 介護者を含めた、ほっ湯アップル入浴料を補助する														
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標						
	車いす使用者及びその介護者への入浴事業				入浴延べ人数				117人						
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足									
事業費計(千円)①		480	480	480	0										
国庫支出金															
県支出金															
起債															
その他															
一般財源		480	480	480											
人件費計(千円)②		36		36											
正規職員所要時間		10		10											
臨時職員所要時間															
総事業費①+②		516	480	516	0										
事業内容・目標達成状況の振り返り	在宅での入浴支援により、介護者の負担軽減を図ることができた。														
改革改善の考え方	①問題点	利用者から利用時間等の増要望があるが、既に施設側が飽和状態であり対応困難な状態。													
	②改革提案	利用量に応じた負担(応益)の可能性について検討したが、費用対効果(徴収事務経費)の面から現行どおり事業を進めていく。また、施設側の障害福祉施策に対する理解もあり、市からの負担額は変更しない。													